

静岡英和学院大学

改善報告書

令和2年7月28日

1. 大学名：静岡英和学院大学

2. 認証評価実施年度：平成29(2017)年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

【改善を要する点】

○人間社会学部コミュニティ福祉学科については、収容定員充足率が0.7倍を下回っている  
ので、更なる改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

【改善状況】

平成26(2014)年度から平成29(2017)年度(認証評価受審年度)まで、人間社会学部コミュニティ福祉学科の入学人数は減少し、これにより収容定員充足率も漸減した。平成29(2017)年度の認証評価時点において、コミュニティ福祉学科の収容定員充足率は51.2%となり、「改善を要する点」として改善が求められることとなった。

本学では、平成30(2018)年度以降、学生募集戦略として、①広報活動における重点エリアを設定し、その地域における広報活動の強化。②高大接続の観点から、県内高校への出前授業の提供、留学生の派遣等の連携の紹介、県立高校との教育連携。③入試制度改革の実施。④留学生の受入れ強化。また、⑤コミュニティ福祉学科に新たな専門分野の追加をした。その他、⑥コミュニティ福祉学科の収容定員の変更を行い、コミュニティ福祉学科の収容定員充足を回復させ、併せて学部全体の充足率を回復させる努力を行った。

具体的改善策は以下のとおり。

**改善策①**：平成30(2018)4月に隣接大学が総合大学化し開学となったことで、その系列大学の撤退があった地域が生じたため、本学としては、その地域(静岡県東部地域)を中心に担当者を高校現場の進路指導に精通した人員を配置するなど高校訪問に重点を置いて、広報活動を強化した。

【資料2-1-1】

**改善策②**：コミュニティ福祉学科、福祉コースを設置する県立学校2校と教育連携の協定を結び、福祉系を志望する受験生の確保に向けた環境整備を進めた。協定校を含んだ重点エリアでの出前授業の実施、高校からの要望による留学生の派遣を複数回実施した。

【資料2-1-2】【資料2-1-3】

**改善策③**：令和 2(2020)年度入学生入試から、入試方法をそれまでの学科ごと(人間社会学科・コミュニティ福祉学科)の募集を止め、くくり募集(人間社会学部)を開始した。人間社会学部内にある 2 学科(人間社会学科・コミュニティ福祉学科)の履修モデルコースを示すことで、学部全体の PR を強化し、学部への入学者数を増やすことを目指した。

なお、2 年次に学科選択を行うため、1 年次のコミュニティ福祉学科の入学者数は算定できない。

【資料 2-1-4】【資料 2-1-5】

**改善策④**：平成 30(2018)年に日本語学校(3校)との教育連携を結んだことに加え、従前と変わらない日本語学校への訪問、留学生向けオープンキャンパスの実施などにより外国人留学生の入学者を安定的に確保できるよう努めている。

現在、留学生比率は 20%前後で安定的に推移している。

今後アジア圏各国での少子高齢化が進み、医療福祉現場での人材需要がより高まるので、留学生のコミュニティ福祉学科への入学の誘導を検討した。

【資料 2-1-6】【資料 2-1-7】【資料 2-1-8】【資料 2-1-9】【資料 2-1-10】【資料 2-1-11】

**改善策⑤**：一人でも多くの留学生を 2 年次の学科選択の際にコミュニティ福祉学科へ誘導できるよう、「多文化共生」を専門とする専任教員を採用し、留学生との密なコミュニケーションにより、ゼミ等を通じコミュニティ福祉学科への誘導を目指す。

【資料 2-1-12】

**改善策⑥**：平成 31(2019)年 4 月からの人間社会学部コミュニティ福祉学科の入学定員をそれまでの 120 名から 80 名に変更し、収容定員を減じることで、充足率を高め定員の適正化を目指した。

【資料 2-1-13】

## 【結果】

改善策を講じた結果、コミュニティ福祉学科の入学定員充足率に改善が見られた。現在、コミュニティ福祉学科の収容定員充足率の 0.7 倍は依然として下回っているが、平成 31(2019)年度からコミュニティ福祉学科の収容定員を減じているため、収容定員充足率についても今後改善が進むと捉えている。

また、コミュニティ福祉学科がある人間社会学部の収容定員充足率に大きな改善が見られ、令和 2 年度において、収容定員充足率を約 90%まで回復することができた。

今後は、学部くくり募集により入学した学生が、2 年次にコミュニティ福祉学科を選択する学生を確保していくことに努め、コミュニティ福祉学科の収容定員充足率のさらなる改善に注力していく。

## 5. エビデンス（根拠資料）一覧

### 基準項目 2-1 の資料

- 【資料 2-1-1】 静岡県東部エリアを中心とした高校訪問実績資料（2018-2019 年度）
- 【資料 2-1-2】 静岡英和学院大学と静岡県立清流館高等学校との包括連携協定書
- 【資料 2-1-3】 静岡英和学院大学と静岡県立清水西高等学校との包括連携協定書
- 【資料 2-1-4】 オープンキャンパス参加者人数（2018-2019 年度）
- 【資料 2-1-5】 人間社会学部の定員に対する在籍学生数比率の推移（4 年間）
- 【資料 2-1-6】 静岡英和学院大学とフロスペラ学院ビジネス専門学校との包括連携に関する協定書
- 【資料 2-1-7】 静岡英和学院大学とフロスペラ学院ビジネス専門学校との入学及び編入学に関する覚書
- 【資料 2-1-8】 静岡英和学院大学と西日本アカデミー航空専門学校との包括連携に関する協定書
- 【資料 2-1-9】 静岡英和学院大学と西日本アカデミー航空専門学校との入学及び編入学に関する覚書
- 【資料 2-1-10】 静岡英和学院大学と専門学校アートカレッジ神戸との包括連携に関する協定書
- 【資料 2-1-11】 静岡英和学院大学と専門学校アートカレッジ神戸との入学及び編入学に関する覚書
- 【資料 2-1-12】（専門分野 異文化理解・多文化共生）教員紹介資料
- 【資料 2-1-13】 新入生の日本人学生と留学生の入学割合（2018-2020 年度）